

平成 26 年 7 月 31 日

約 200 倍のレートで外国通貨の両替取引を行う 「株式会社ノルディア」に関する注意喚起

平成 25 年 11 月以降、シリアポンド等の外国通貨の両替を勧誘する事業者に係る相談が、各地の消費生活センターに寄せられています。

消費者庁が調査したところ、「株式会社ノルディア」(以下「ノルディア」といいます。)との取引において消費者の利益を不当に害する行為(不実のことを告げること)を確認したため、消費者安全法(平成 21 年法律第 50 号)第 38 条第 1 項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様にご注意を呼びかけます。

(注意喚起の要旨)

- ノルディアは、消費者宅にシリア・アラブ共和国の経済情勢等を紹介したパンフレットやシリアポンドの爆発的な価値の上昇を思わせる特別販売の案内状を送り付け、消費者に対して外国為替相場における為替レートを告げること無く、その約 200 倍のレートで円からシリアポンドへの両替取引を行っています。
- ノルディアは、この特別販売の案内状に、「特別保証・販売価格」、「1,000 シリアポンド＝150,000 円」、「保証期間 20 年」と記載し、また、消費者に対して再両替を 20 年間保証する旨を説明しています。消費者が申し込むと、ノルディアは現金をレターパックで送付するよう指示し、実際にシリアポンドは消費者に届きますが、連絡先とする電話は、その後、不通となってしまいます。
- 特別販売の案内状等が消費者に届く時期と前後して、ノルディアとは別の事業者から、シリアポンドは将来値上がり確実なので、購入してくれば当社が 1,000 シリアポンド紙幣 1 枚を 32 万円で買い取る旨の電話があり、シリアポンドの両替取引に関する勧誘が行われますが、買い取りを約束した事業者がシリアポンドを実際に買い取ることはありません。
- 当庁が調査したところ、同社が所在地とする場所に事業拠点は存在せず、連絡先とする電話も不通となるため、ノルディアが再両替の保証に応じるつもりはないことがうかがえます。また、シリアポンドは日本国内の主要な金融機関で両替サービスが行われていないため、消費者がシリアポンドを円に再両替することは極めて困難です。
- ノルディアが行う外国通貨両替の勧誘には決して応じないようにしましょう。
- 現金をレターパック等で送付することはできません。事業者からレターパック等で現金を送付するよう指示されても決して応じてはいけません。
- この件と類似の取引の勧誘を受けた場合は、消費生活センターや警察に相談しましょう。

本件に関する問合せ先

消費者庁 消費者政策課 財産被害対策室

TEL : 03 (3507) 9187 FAX : 03 (3507) 9287

約 200 倍のレートで外国通貨の両替取引を行う 「株式会社ノルディア」に関する注意喚起

平成 25 年 11 月以降、シリアポンド等の外国通貨の両替を勧誘する事業者に係る相談が、各地の消費生活センターに寄せられています。

消費者庁が調査したところ、「株式会社ノルディア」（以下「ノルディア」といいます。）との取引において消費者の利益を不当に害する行為（不実のことを告げること）を確認したため、消費者安全法（平成 21 年法律第 50 号）第 38 条第 1 項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様にご注意を呼びかけます。

1. 事業者の概要

名 称	株式会社ノルディア
所 在 地	① 東京都千代田区丸の内 1-9-2（平成 26 年 2 月ごろ） ② 東京都千代田区丸の内 2-4-1（平成 26 年 4 月ごろ）
代 表 者	不明

※ ノルディアが消費者に提供した資料等に記載されている内容です。

※ ノルディアは、上記所在地に存在しません。

※ 同名又は類似名の事業者と間違えないよう御注意ください。

2. 具体的な勧誘事例（勧誘資料は別添を参照）

- 平成 26 年 2 月上旬、消費者宅に A 社の B という男性から突然電話があり、「ノルディアという外国通貨を取り扱う会社からパンフレットが届いたら連絡をください。この会社は、1,000 シリアポンド紙幣 1 枚を 15 万円で両替します。シリア通貨は将来値上がり確実なので、購入してくれれば当社が 1 枚 32 万円で買い取りますよ。」などと勧誘を受けた。シリアポンドは入手困難であり、パンフレットが届けられた人だけに両替の権利が与えられるため、A 社にはシリアポンドを手に入れる手段がないという説明だった。
- 2～3 日後、消費者宅に、ノルディアからシリア・アラブ共和国の経済情勢等を紹介したパンフレットとシリアポンド特別販売の案内状が届いた。案内状の内容はシリアポンドの爆発的な価値の上昇を思わせるものだった。また、「特別保証・販売価格」、「1,000 シリアポンド＝150,000 円 保証期間 20 年」と記載されていて、日本円をシリアポンドに両替しても、再両替を保証するような内容だった。消費者は、A 社から 1,000 シリアポンド紙幣 5 枚の買取りを約束されていたので、ノルディアに 5,000 シリアポンドを申し込むことにした。
- ノルディアに電話をすると、担当者 C から、シリアポンドは値上がり確実であることや 20 年の再両替を保証する旨を説明されたため、5 枚分 75 万円を申し込んだ。代金はレターパックに入れ、品名を「書類」と書いて郵送するよう指示され、その指示どおりに 75 万円を指定場所に送付した。消費者は、レターパックで現金を送ることに疑問を感じたものの、郵便局から許可を得ている会社が受け取るので安心してほしいと C から説明された。

- (4) 2月下旬、ノルディアからレターパックが消費者宅に届いた。この中には、1,000 シリアポンド紙幣5枚のほか両替証明書が同封されていた。
- (5) A社にシリアポンドを買い取ってもらうため、Bに連絡したところ、「私もシリア通貨が欲しいので、代わりに30枚450万円分を買ってくれませんか。前回の分と併せて買い取ります。」と依頼された。消費者が、450万円は立て替えられない旨を告げると、Bから、450万円のうちの230万円は自分が直接ノルディアに支払う、残りの220万円を立て替えてほしいと頼まれた。消費者は、前回と同じ送付先にレターパックを利用して220万円を送付した。
- (6) 数日後、Bの上司から電話があり、「名義貸しをしていませんか。」と問われたため、消費者は正直に経緯を説明した。「名義貸しは法律違反ですよ。警察に訴えられますよ。」と脅された。その後ノルディアのCから電話があり、それを回避するためには、Bに230万円を返還し、消費者が450万円分のシリアポンドを両替する必要がある、残額の230万円を支払わなければならないとのことだった。すぐにA社のBに電話をしたが、Bは誠実な対応をせず、その後連絡が取れなくなった。
- (7) 消費者は、残金230万円を支払うよりも今回の申込みを解約しノルディアに220万円の返金を求めたかったが、電話をかけると名義貸しを責められて230万円を請求されるため、その後の連絡は避けている。

ノルディアからは230万円の追加支払以外の提案がなく、消費者は220万円を支払ったままで、220万円相当のシリアポンドの送付もない状況である。

なお、消費者は、ノルディアから両替当時の為替レートについて説明を受けていないため、1,000シリアポンドの為替レートは15万円と思い込んでいたが、後に約700円であることを確認した。200倍以上の値であることを事前に知っていたら、ノルディアからシリアポンドを買うことはなかった。

3. 当庁が確認した事実

- ノルディアは、勧誘時期によって、パンフレットに異なる事業所の所在地を記載していますが、共に同社の事業所等は存在しませんでした。また、消費者が現金を送付した先は、私書箱事業者でした。
- ノルディアは、消費者に対し、自社での再両替を保証していますが、事業所が存在せず、電話もつながらなくなるため、再両替は不可能となります。また、シリアポンドは日本国内の主要な金融機関では両替サービスが行われていないため国内での再両替は困難ですが、消費者に対してその説明をしていませんでした。
- ノルディアの提示したレートは、同時期の外国為替相場における為替レートと比較すると約200倍になります。同社はこの事実について消費者に説明しないまま取引を行っています。

【参考レートとの比較】

通貨	ノルディアの提示したレート (A)	参考レート (B) ※	(A) / (B)
1,000 シリアポンド	15万円 (固定)	680円~740円	約200倍

※ 税関ホームページ参照 (平成25年11月~平成26年7月)

- 当庁では、ノルディアがシリアポンドのほかウクライナ通貨の両替も行っているとの情報を入手しています。

4. 消費者へのアドバイス

- ノルディアは、特別保証として20年間の長期にわたり、シリアポンドから円への再両替を保証していますが、これに応じるつもりがないことがうかがえます。また、買い取りを約束する事業者と裏でつながっていることが強くうかがわれますので、同社の勧誘には応じないようにしましょう。
- 外国通貨の両替を行う事業者の中には、日本国内の主要な金融機関では両替サービスが行われておらず再両替が困難な通貨の両替を勧誘する事業者が見受けられます。また、外国為替相場における為替レートを消費者に告げずに、為替レートの数十倍～数百倍で取引を行っている事業者があります。本件の消費者が購入した通貨は、仮に日本円に再両替できたとしても、購入したレートが極めて割高であるため、当初に費やした円価を上回らない可能性が大きいと考えられます。
外国通貨については、取引を申し込む前に再両替の可能性や為替レートを必ず確認しましょう。
- 現金をレターパック等で送付することはできません。事業者からレターパック等で現金を送付するよう指示されても決して応じてはいけません。
- 「必ず値が上がる」など、将来、消費者が受け取る金額について約束をするような投資の勧誘には応じないようにしましょう。
- 当庁及び独立行政法人国民生活センターでは、外国通貨の両替に関するトラブルについて注意喚起を行っていますので御参照ください。

平成24年3月13日 消費者庁

「国内で取扱いの少ない『外国通貨の両替』の勧誘に関する注意喚起」

<http://www.caa.go.jp/adjustments/pdf/120313shiryo1.pdf>

平成24年9月21日 国民生活センター

「次々出てくる換金困難な外国通貨の取引トラブル！」

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20120921_1.pdf

平成23年2月24日 国民生活センター

「スーダンポンドの購入を持ちかける業者に注意！－「買い取る」「代わりに申し込んで」と勧誘する手口－」

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20110224_2.pdf

平成22年9月24日 国民生活センター

「換金性の乏しい外国通貨の取引にご注意！－イラクディナールに続き、今度はスーダンポンド……」

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20100924_1.pdf

平成22年6月24日 国民生活センター

「イラク通貨（イラクディナール）の取引に要注意！－高齢者等をねらった新手的投資トラブル－」

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20100624_1.pdf

- このような取引に関して不審な点があった場合は、消費生活センターや警察に相談しましょう。
 - 消費者ホットライン（最寄りの消費生活センターを御存知でない場合）
電話番号 0570-064-370
 - 警察相談専用電話
電話番号 #9110

（以上）

別添

SYRIA ~シリア・アラブ共和国~

EXCHANGE SERVICE

現在のシリア経済状況



基本的には社会主義的計画経済を維持しながらも、民間資本の導入と規制緩和を中心とした経済政策を採用。近年緩やかながら外資導入、国営企業民営化、金融・保険分野の民間への開放、証券市場設立等を通じた市場経済への移行努力を続けている。石油生産の減少や天候に左右される一次産業主体の産業構造からの脱却などが課題となっており、観光産業、繊維産業の活性化、外資導入による新規産業創出などを進めている。近年では、湾岸諸国及びイラン並びに中国、インド、マレーシア等のアジア新興国からの投資が増加している。

不安定な情勢の理由

シリア落しの陰に見える資源ビジネス

アメリカ、ヨーロッパの狙いは、シリアの天然ガス資源



米国は、20年以上前から反米的な国々を叩き潰す計画を立てており、シリアもかなり早い段階からターゲットにされていました。

シリアの後ろ盾は中口ですから、米国に睨まれて当然ですが、この状況は今に始まったことではなく、唐突感はありません。一体何があったのでしょうか？

背景にはやはり、資源の問題があるようです。昨年夏、シリアのホムス周辺に油田とガスが埋蔵されていることが判りました。

シリアと隣国レバノンの沖合には大規模なガス資源が存在し、それを巡って各国が血眼になっているのです。中口に独占されたら大変なので、NATO 諸国が裏から手を回してアサド政権を倒そうとしているのです。アサド追放後の利権配分も、既に取り決められています。

欧州が力を注ぐ交易の重要経由地

シリアで交差する2つのパイプライン！
「アラブパイプライン」と「イスラムパイプライン」

2011年7月、イラン、イラク、シリアがイラン産の天然ガスを西へ運ぶため、イスラムパイプライン建設に合意を示した。このパイプライン建設計画はイランの南パースで産出される天然ガスをイラク～シリアを通り、そのまま地中海を抜けてギリシャまで伸びるという5,000kmに渡る壮大なパイプライン計画である。



情勢安定後のシリアへ高まる期待



7日付の米紙ニューヨーク・タイムズはシリア情勢に関する社説を掲載し、米政府にアサド政権の崩壊を見越した対処計画の立案を加速させるよう訴えた。

社説はシリア情勢について、反体制派が勢いづいていると分析。アサド政権への圧力強化だけでなく、米国や同盟国は「シリアの建設的な未来に向けた土台」を築く時期に差し掛かってきたと強調する。中でも内戦の早期収束は重要課題だ。オバマ政権は次善の策として約130の有志国で構成する「シリアの友人」会合の支援を主導している。社説も米国の対応に賛意を示し、武器供与を排除した支援策は、過激派に近い派閥もあるとされる反体制派の本質を見極める上でも効果的と分析している。

また、オバマ政権が着手した、アサド政権崩壊に伴う難民流出や経済復興、シリア軍の体制維持に関する対処計画の立案についても、「反体制派が支援を求めるかは不明だが(オバマ)政権は準備を整えねばならない」と歓迎。ロシアへの圧力も強化し、混乱を終局に導くよう促している。

シリアが誇るエネルギー資源・・・。

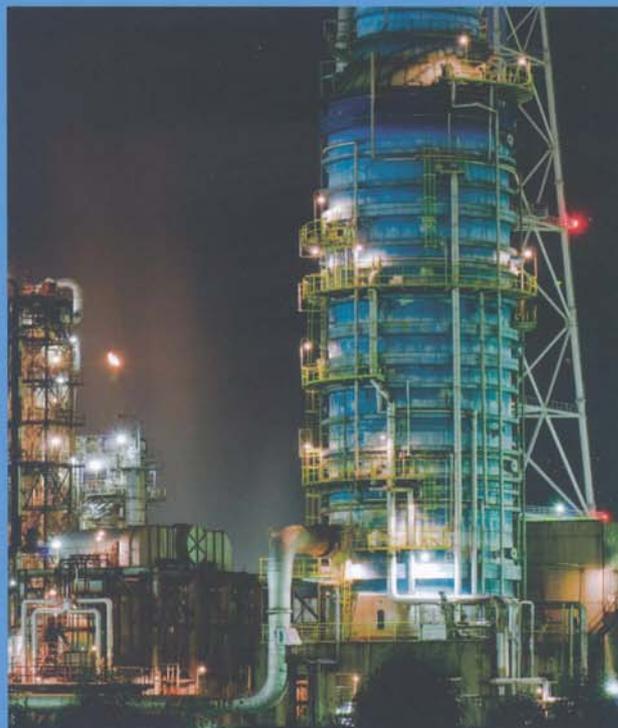
貿易の主力は、【天然ガス】と【石油】

世界情勢までも変えてしまうエネルギー資源

米国は、アフガン問題を利用し、トルコの協力を得ながら、ウズベクを経由して、中央アジアのエネルギー資源に再び干渉しようとしている。ロシアと中国は、エネルギー分野の相互依存を急速に高めている。

残るガス資源国のうち、輸送経路が確立していないは、イランと、シリア・レバノンの沖合である。イランについては、イランからイラク経由でシリアの沿岸にパイプラインを建設することで、3ヶ国が合意した。レバシ沖合には、大規模なガス資源が眠っていると目されているが、開発はこれからである。両国、特にシリアは豊かな国になる可能性がある。シリア石油省は、まだ海底ガス田について、何もプランを発表していない。シリアの天然ガスを誰が押さえるかによって、21世紀の中東と世界政治の方向性が決まる。

昨年夏、ホムス周辺で新原油と新ガス埋蔵地の発見があったと発表が行われた。



原油の埋蔵量

26 億
バレル

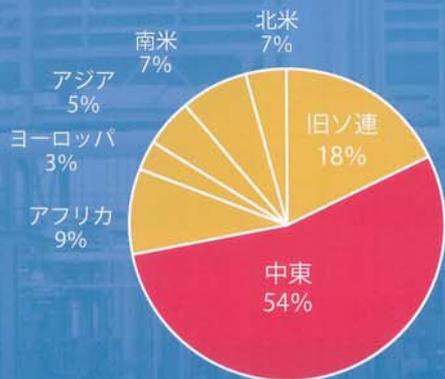
天然ガスの埋蔵量

83 億
メートル

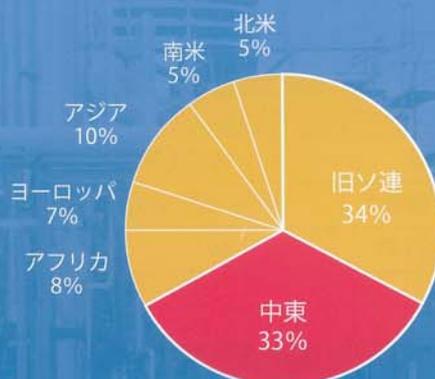
エネルギー資源が豊富な中東各国。

石油、天然ガスをはじめとするエネルギーは中東の各国が保有している。世界のなかでもエネルギー市場において重要な役割を果たしている。最近の原油価格の下落や、不安定な情勢の影響にも関わらず、巨大なエネルギー生産地域として、最も重要な石油、ガスの供給源であり、欧州をはじめ、アジア各国からも注目を集める。

【石油の地域別埋蔵量】



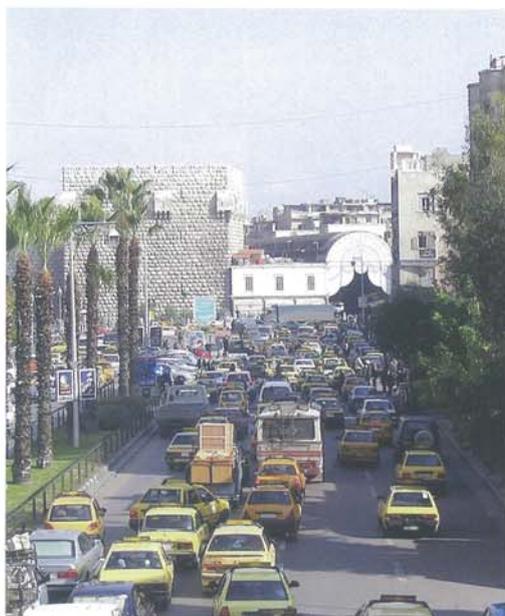
【天然ガスの地域別埋蔵量】



シリア・アラブ共和国基本データ

—— 注目を集める、エネルギー資源の宝庫 ——

シリア・アラブ共和国（シリア・アラブきょうわこく）、通称シリアは、中東・西アジアの共和制国家。北にトルコ、東にイラク、南にヨルダン、西にレバノン、南西にイスラエルと国境を接し、北西は東地中海に面する。首都はダマスカス。「シリア」という言葉は、現在の国家ではなく、周辺のレバノンやパレスチナを含めた地域（歴史的シリア、大シリア、ローマ帝国のシリア属州）を指すこともある。



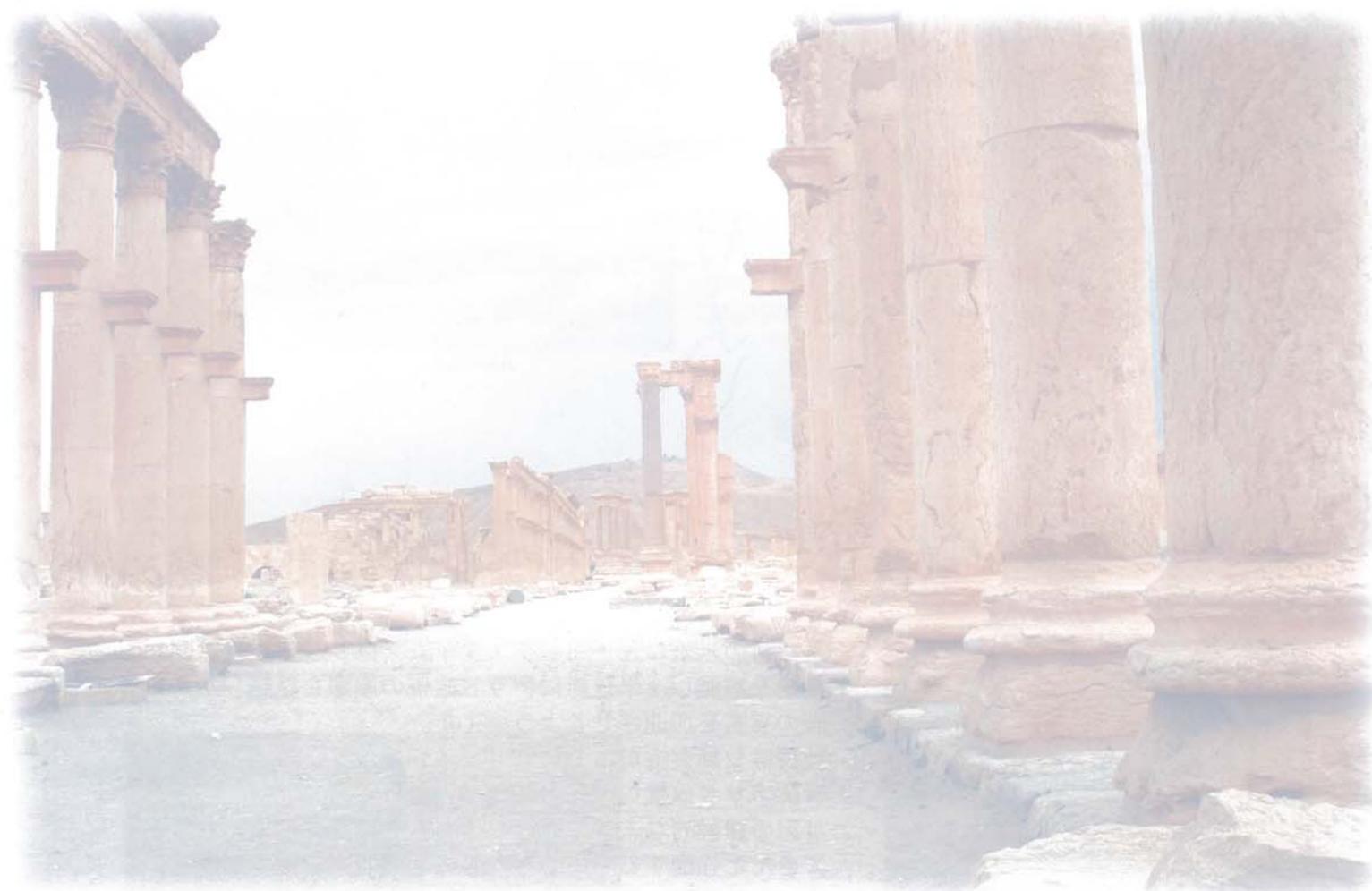
東地中海に面する一部を除いて、国土は隣国と地続きであり、北部ではトルコと、東部ではイラクと、南部ではヨルダンと、西部ではイスラエルやレバノンとそれぞれ国境を接している。国土の内、西部の地中海沿岸部には平野が広がっており、南部は肥沃な土地が広がっており、国内農業のほとんどを負担している。北部は半乾燥地帯、中部はアンチレバノン山脈が連なり、山岳地帯が大半であるが、乾燥地帯の延長上には、アラビア半島に続くシリア砂漠がある。国内最高峰はハーモン山（2,814m）。国土を北から南にユーフラテス川が、南から北にオロンテス川が流れている。

気候は地中海沿岸部は典型的な地中海性気候（Cs）で、夏季は高温乾燥、冬季は温暖多雨である。内陸部に入るに従い乾燥の度合いが激しくなり（BS）、イラク国境周辺は砂漠気候（BW）となっている。この地域では冬季には氷点下まで下がり、降雪による積雪も見られるなど季節毎の差が激しい。ダマスカスの年平均気温は 5.8℃（1月 26.5℃（7月）、年降水量は 158.5mm。

公用語	アラビア語
首都	ダマスカス
面積	185,180km ² (86位)
人口	21,906,000人 (55位)
人口密度	97人/km ²
通貨	シリア・ポンド (YTL)
建国	1946年4月17日
時間帯	UTC +2 (DST: +3)
ccTLD	.sy

実質 GDP	68,700 (億シリアポンド)
名目 GDP	130,500 (億シリアポンド)
名目 GDP (USドル)	2,802 (10億USドル)
購買力平価ベース GDP	5,040 (10億USドル)
1人当りの名目 GDP	517.18 (USドル)
GDP デフレーター	189.96 (%)
購買力平価換算	107.83 (10億USドル)
購買力平価換算(世界シェア率)	0.145 (10億USドル)
国際収支	-1.98 (10億USドル)

SYRIA EXCHANGE SERVICE



 株式会社ノルディア

 0120-

〒 東京都千代田区丸ノ内 1-9-2


お客様各位

特別販売に関してのご案内

拝啓 皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお慶び申し上げます。
このたび、当社取扱い商品のシリアポンドに関して、既にご購入いただいているお客様と、こちらのご案内状が届いたお客様に対しての特別価格・特別保証での販売をさせて頂く内容を下記に記しましたので、ご確認の程宜しく
お願い致します。



日本で手に入りにくい通貨の取り扱い。FXのように取引をインターネット上で行うことなく実際に現物を商品として販売。現物を手に入れることが最大のメリット。

FXのような信用取引がないため、リスクを最小限に抑えた投資が可能。
日本ではあまり知られていないだけで、海外にはまだまだ爆発的な価値の上昇の可能性を秘めた国がたくさんあります。それらの国の通貨をいわゆる青田買いし、日本の通商機構に乗る前にいち早くお客様にご提供いたします。

通常保証・販売価格

1,000 シリアポンド = 250,000 円
保証期間 (当社規定) 10 年



特別保証・販売価格

1,000 シリアポンド = 150,000 円
保証期間 20 年

尚、上記内容の特別販売に関しましては、こちらのご案内状が届いたお客様のみの取引となっております。

また、商品数にも限りがございますので、在庫がなくなってしまった場合は特別販売でのお取扱いが出来ませんので、予めご了承お願い致します。

敬 具



株式会社ノルディア



0120-

〒 [redacted] 東京都千代田区丸の内 1-9-2 [redacted]